

# 放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

## 回答率

事業所職員： 4名回答、回答率 100%  
保護者様： 23名回答、回答率 67.6%

## 職員の意見

### ○環境・体制整備

- ・活動時にどの児童に誰が担当するかを決めて支援がスムーズに行くようにしている。
- ・分かりやすいイラストを使用して過ごしやすい環境作りを行っている。
- ・トイレ前に段差があるため声掛けを行っている。

### ○業務改善

- ・業務前に当日の児童や動きに関するミーティングを行っている。
- ・業務分担に関するミーティングを行いそれぞれに業務が偏りのないよう工夫している。
- ・療育活動の準備は事前に行うようにし、特に準備の必要なものに関しては職員全員でより良いものが作れるようにしている。

### ○適切な支援の提供

- ・イベントや行事に合わせて活動プログラムを作成している
- ・業務前のミーティングでは前日の共有のみではなく最近の様子等を踏まえてお子さんに合わせてスタッフ全員が共通の支援目標をもって支援にあたるように話し合いをしている。
- ・その日ごとに個別課題を設定し、達成したら少しずつレベルアップができるようにしている。
- ・療育活動は同じものでも理解度や達成度に合わせてルールを変えて活動を行っている。

### ○関係機関や保護者との連携

- ・送迎時に本日の様子を共有するだけでなく、最近の学校や自宅での様子も一緒に聞き取りを行い連携した支援を行えるようにしている。
- ・学校へのお迎え時に先生からの様子を聞き本日の様子を確認している。

### ○保護者への説明責任等

- ・ニュースレターを毎月発行している。
- ・保護者会・保護者も参加可能なイベントを定期的に開催している。

### ○非常時等の対応

- ・年に数回スタッフ研修に機会がある。
- ・地震・火災・津波・不審者等の緊急時を想定した避難訓練を月毎にどの曜日の児童も訓練できるようにしている。

## 保護者様のご意見

### ○環境・体制整備

- ・職員の方は子どもを理解して丁寧に対応いただいています。懸念点として、職員の方の異動が多く感じ、可能であれば同じ先生にある程度長い期間見ていただけると変化の苦手な子供も安定して通えるかなと思っています。
- ・靴の脱ぐ部分の段差がなく分かりにくい構造になっているのが気になります。

### ○適切な支援の提供

- ・他の教室の中学生と交流出来ることが良い。理由は、本人が、中学生との交流から、成長することや中学生生活を前向きに捉えられるようになったため。
- ・長期休み中の色々な活動を通じて子どもが非常に社会性が身についたと思います。電車の中で席を譲ってもらうことがあればきちんとお礼を言う、お店でご飯を食べたら、ごちそうさまでした、美味しかったですと伝えるなどは、スマートキッズの先生方が愛情を持って支援していただいているおかげで身についた自己肯定感や社会性だと感じており、大変感謝しています。

### ○保護者への説明等

父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。の設問に対し、「参加しやすい環境です。」という意見もいただいたが、半数近い11名がわからないという回答をいただいた。

### ○非常時等の対応

- ・防災訓練を定期的に行っています。

### ○満足度

- ・イベントなどを多数設けて下さり、ありがとうございます。いつも楽しみにしています。
- ・よくして頂いています。
- ・子どもの特性を理解して関わっていただいていることをとても実感します。といったお声をいただいた。

## 昨年度の振り返り

### ○今年度の取り組む具体策

- ・保護者間と職員・保護者間での情報共有が行える企画を、設定する。
- ・日頃の様子を伝える場をブログだけでなく、お便りや保護者会等検討し実施する。
- ・保護者・児童にニーズを送迎時・面談の機会を通して常に聞きより良い支援につなげて行けるようにする。

### ○改善できた点・まだ残る課題

- ・保護者会を開催することができ、普段の支援の様子や保護者同士での意見交換をする場を作ることができた。
- ・お便りやブログを通しての日頃の様子が発信が十分ではなかったため、日々の様子発信する機会を増やしていく。

## アンケート結果からみる教室の強み・改善点

### ○教室の強み

- ・イベントや行事に合わせた療育活動を行うことで児童の通所のモチベーションを保ちつつ、保護者からの満足感に繋げることができた。
- ・保護者参加型のイベントを定期的に開催し、療育活動の様子を実際に見てもらうことにより安心して通わせているとの意見をいただいた。
- ・他教室との合同イベントを開催することにより進学への不安解消につなげられるようにした。

### ○改善点

- ・教室環境に関する意見を多数いただいたため、玄関付近や換気等の観点で整備を行い不安を減らしていけるようにする。
- ・体制の変更により、児童を理解してくれる職員が減ってしまったのではないかと不安のご意見をいただいたため、より安心して通所いただけるよう児童の特性等の共有は綿密に行えるようにする。
- ・保護者会や保護者交流の機会を設けているがわからないという回答が多かったため周知が十分ではない。

## 中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

### ○中長期的な改善計画

- ・教室の体制、環境を整えたくうえで、保護者・お子様に安心して通っていただける教室運営教室づくりを引き続きおこなっていく。
- ・長期休み・特別開室では、「遠足に行こう」や「お買い物しよう」等の課外活動を多く取り入れ身体を動かしたり、近隣の法人内中高生中心の事業所であるジュニアなどとの交流を今後も行う。また課外活動の行き先が限定されないように法人内他事業所や保護者等から情報収集をして児童がいろいろな経験が出来るように活動を設定していく。
- ・保護者交流の機会を作るとともに周知を徹底し開催していることの認知を高める。

### ○1年間で取り組む具体策

- ・教室環境の整備。玄関の土足場所の区別(分かりやすいように視覚化)をしたり、保護者対応時に使用するスリッパの手配。
- ・長期休み等で安全を考慮した上で児童の社会性を育めるような療育活動の検討・実施
- ・スタッフ間共有を強化しより安心してご利用いただける環境作り。
- ・保護者交流の場を設けるとともに、実施していることがしっかりと保護者へ伝わるようにお便りやメール、対面の際などに開催のご案内をおこなう。